

【校長からのメッセージ(令和2年4月10日・金)】

臥薪嘗胆の心意気で捲土重来を期する

埼玉県立浦和商业高等学校長 内田 靖

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた、内閣総理大臣による緊急事態宣言の発令を受けて、埼玉県知事は外出自粛や県立学校の臨時休業の要請などを含む緊急事態措置を発出した。

この未曾有の危機の中、浦和商业高校は5月6日(水)までを臨時休業とした。

4月8日(水)の入学式及び9日(木)の学年別登校日において、「臨時休業中の過ごし方(浦和商业高等学校)」を生徒へ配付した。浦商生は、この通知を熟読し、健康に留意しながら与えられた課題をこなしていてもらいたい。

標題の「臥薪嘗胆(がしんしょうたん)」とは、「目的を遂げるために苦心し、努力を重ねること」(新明解四字熟語辞典・三省堂)である。浦商生は、臨時休業によって学習を遅らせることなく、学校再開に向けて力を蓄えるのである。自宅で一人学習することは、まさに薪(まき)の上に臥(ふ)して苦い胆(きも)を嘗(な)めるような思いであろうが、それを乗り越えてもらいたい。この心意気と行動が皆さんの健康を守り学びを高めるのである。

また、標題の「捲土重来(けんどちょうらい)」は、「一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すことのとえ」(新明解四字熟語辞典・三省堂)である。皆さんは、残念ながら新年度を臨時休業という形でスタートした。この危機に対して、土が巻き上がるという意味の「捲土(けんど)」のごとき勢いで、一度去った者が再びやってくる「重来(ちょうらい)」を呼び起こすのである。

浦商生には、この臨時休業を臥薪嘗胆の心意気で乗り切り、学校再開に向けて捲土重来を期してもらいたい。

※文中の、「臨時休業中の過ごし方(浦和商业高等学校)」と課題は、「緊急情報サイト」にも掲載した。